

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 3月31日
 (中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 <連絡先> 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
 平日9:00-17:00 オペレーター対応
 <郵送先> 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 公告方法 電子公告
 (https://www.hugp.com/)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関する手続き等について

お問い合わせ内容	証券会社にて株式をお持ちの場合	特別口座*の場合
住所変更		
単元未満株式の買取・買増請求	お取引のある証券会社にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
配当金受取方法の変更		
未受領の配当金の受取方法	三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)	

*株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)に預託されていなかった株主さまの株式は、当社が株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設して記録、管理しております。

【表紙の作品について】

表紙の絵は、cocoa floatさん作「暁のワルツ」(パラリンアート作品)です。

※「パラリンアート」とは、障がい者の社会的参加と経済的自立を彼らの芸術的表現を通じて支援する、一般社団法人障がい者自立推進機構による活動です。H.U.グループは「パラリンアート」を支援しております。

H.U.グループホールディングス株式会社

〒163-0408 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング
 お問い合わせ: コーポレートコミュニケーション本部 IR/SR課 TEL: 03-5909-3337
<https://www.hugp.com/>



2020年度(第71期) 株主通信

Contents

グループのMission, Vision	1
Top Message	3
連結業績ハイライト	7
セグメント別情報	8
特集 新型コロナウイルス感染症への対応	9
会社概要	13
株式の状況	14

Healthcare for You

私たちが、大切にすること

それは、豊かな未来をつくる原点となる一人ひとりの健康です

人々の健康を見つめてきた私たちだからこそ、

医療の未来に変革を起こすことができる

そして、ヘルスケアに新たな可能性を生み出すことができる

私たちは、挑み続けます

一人ひとりに最適なヘルスケアを届けることを

止まることなく、これからも

Healthcare for You

あなたの健康のために、未来の笑顔のために。



当社は、2020年7月1日に「H.U.グループホールディングス株式会社」へ社名を変更しました。また、社名変更に伴い、グループのMission、Visionも刷新しました。

グループのMission, Vision

Mission

ヘルスケアにおける新しい価値の創造を通じて、
人々の健康と医療の未来に貢献する

Vision

人々の健康に寄り添い、信頼とイノベーションを通じて、
ヘルスケアの発展に貢献するグループを目指す

新社名について



社名の「H.U.」は、「Healthcare for You」を表したものです。これまでの臨床検査を中心に医療を支え続けてきた存在から一歩踏み出し、一人ひとりと向き合い、全ての人に最適なヘルスケアを届けたいという想いを込めました。



Top Message

企業価値の向上に向けて

中期経営計画

「H.U.2025～Hiyaku(飛躍) & United～」を始動

H.U.グループホールディングス株式会社
取締役 代表執行役社長 兼 グループCEO

竹内 成和

この度は、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に
謹んでお見舞い申し上げますとともに、
医療従事者を始めとする
感染拡大防止にご尽力されているみなさまに
心より感謝申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別
のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2020年度（2021年3月期）
から2024年度（2025年3月期）までの5年間を

対象とする中期経営計画「H.U.2025～Hiyaku
（飛躍） & United～」(以下「H.U.2025」)を策
定しましたので、その概要をご説明申し上げます。

前中期経営計画の振り返り

前中期経営計画「Transform! 2020」（2017
年度～2019年度、以下「前中期計画」)において
は「第2の創業」を掲げ、将来の飛躍的かつ持続
的な成長に資する基盤整備を目的とした重要施策
を遂行してまいりました。数値目標が未達であった
ことは経営陣一同重く受け止めておりますが、グ
ループ一体化の推進、既存事業における顧客基盤
の拡大、R&Dの強化などこれからの成長に必要な

中期連結数値計画

	2024年度
連結売上高CAGR※1	6%以上
連結EBITDAマージン	18%以上
連結営業利益率	10%以上
ROE	12%以上
ROIC	8%以上
	5年間累計
営業キャッシュフロー	1,500億円以上
フリーキャッシュフロー※2	500億円以上

フリーキャッシュフローは2022年度に**単年度黒字化**

※1 5か年(2019年度-2024年度) ※2 リースは投資キャッシュフローに含まない

2030年にグループとして
ありたい姿

2030年度に

時価総額

8,000億円以上へ

土台は整備できたと考えております。また、将来成
長への投資として、当社グループの中核施設とな
る新セントラルラボの建設に着手するとともに新規
事業領域への進出を行いました。

中期経営計画「H.U.2025」について

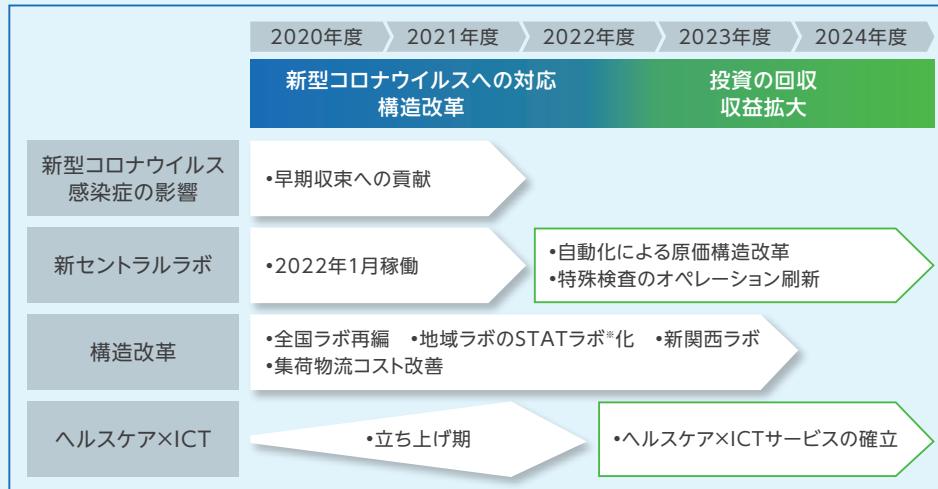
「H.U.2025」では、前中期計画で築いた土台の
上に10年、20年先まで見据えた収益構造を確立
し、新たな事業に挑戦していきます。

今回「H.U.2025」では特に重要な3つのテーマ
を定めました。1つ目は新セントラルラボを着実に
立ち上げ、安定稼働させることです。臨床検査業
界においては、医療費抑制の観点から一般的な

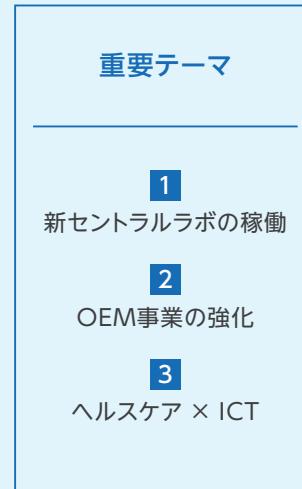
検査は品質を維持した上で一層の低コスト化が求
められる一方、高度化する医療に応じた最先端の
検査への要望も高く、市場は2極化していくものと
想定しています。これまで以上の効率性と技術力
を兼ね備えた国内最大規模の新セントラルラボおよ
び研究開発施設を2022年1月に稼働させ、抜本
的なコスト構造の改善を図ると同時に最先端の
研究開発を行うことでこの市場の変化に対応してま
いります。

2つ目が臨床検査薬事業におけるOEM事業の
拡大です。自社製品である「ルミパルス®」を中心
にグローバル展開を推進してまいりましたが、各国
における規制の強化等により薬事承認コストが増
大するなど事業環境は厳しさを増しています。そこ

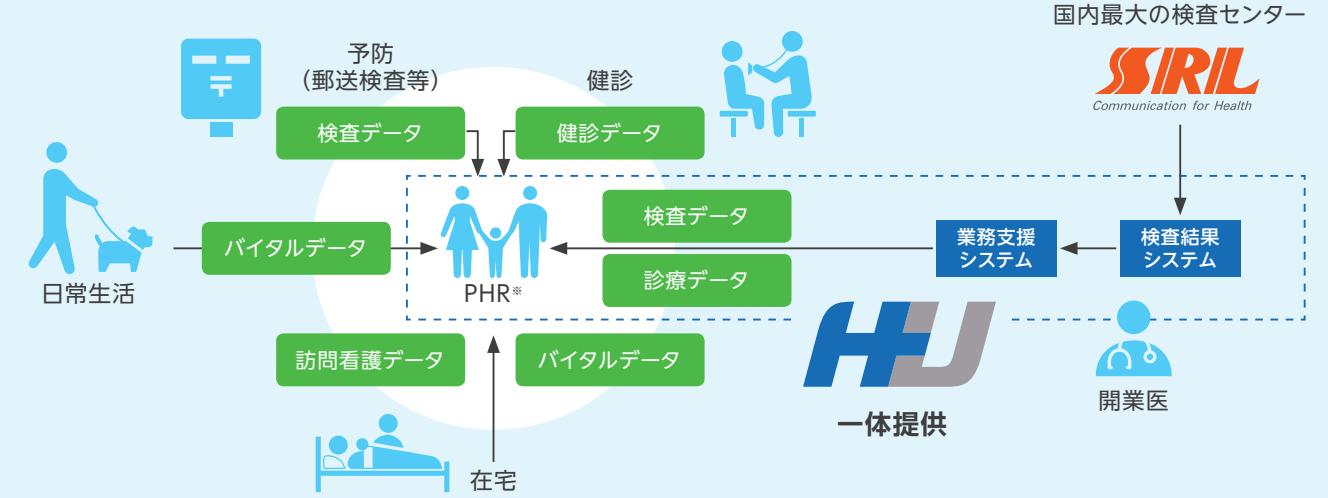
■ 中期経営計画「H.U.2025」の前提と重要テーマ



※STATラボ: 主に緊急検査を受託するラボ



■ ヘルスケア×ICTサービスの展開



※PHR: パーソナルヘルスレコード

で改めて我々の強みに立ち返り、免疫学的検査領域における良質な原材料および試薬の開発技術を活かし、他社の検査プラットフォームに向けた試薬の開発・生産を行うOEM事業を拡大いたします。

3つ目が、ヘルスケア×ICTサービスの展開です。当社はこれまで疾病にフォーカスした特殊検査を中心にビジネスを展開してきましたが、今後は未病領域での検査がより一層重要になってくると考えております。一方で、ICTを使って個人を中心としたヘルスケアデータの集積・管理、データ解析による新たな知見の獲得、受診予約や検査結果の受け取りなど、ヘルスケアとICTを掛け合わせることで新たな付加価値を提供してまいります。

これらの事業展開を通じてヘルスケアの発展に

貢献することで、10年後の2030年度にグループとして時価総額8,000億円以上を目指してまいります。

グループ一体化の推進

新型コロナウイルス感染症への対応では、極めて初期の段階からPCR検査の受託を開始するとともに、迅速抗原検査キット「エスプライン® SARS-CoV-2」および高感度抗原検査試薬「ルミパルス® SARS-CoV-2 Ag」を世界的に見ても短期間で開発・上市することができました。8月からは国内の主要国際空港における検疫所で新型コロナウイルス感染症の包括的検査サービスを受託しており、

そこでは当社グループの「ルミパルス® SARS-CoV-2 Ag」が採用されています。これらの成果は前中期計画において、重点的に推進してきたグループ一体化が奏功したもので、受託臨床検査事業、臨床検査薬事業、そしてR&D機能を一つのグループ内にもつ当社の強みを発揮することができました。

私たちH.U.グループは、ヘルスケア領域において多様なサービス・製品を保有しており、一体化をさらに進めることでより多くの付加価値を生み出すことができると考えています。10月1日には、主要事業会社の営業部門およびマーケティング部門を統合したH.U.フロンティア株式会社が営業を開始いたしました。H.U.グループの総合力を新たな価値とし、ソリューションを提供してまいります。

株主のみなさまへ

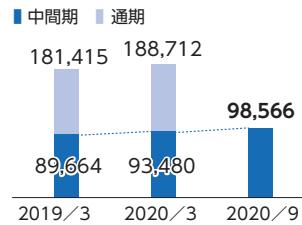
新型コロナウイルス感染症の拡大状況が見通せない中、当社の業績を精緻に予測することが難しく、通期の業績予想はレンジによる開示を行っております。引き続き、信頼性の高いPCR検査の受託サービスを提供するとともに、高品質な抗原検査製品の提供を通じて、新型コロナウイルス感染症の収束に貢献してまいります。

株主のみなさまへの利益還元につきまして、特別損益等特殊要因を除いた純利益に対する配当性向を50%以上とする基本方針を維持してまいります。今後とも引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

損益の状況

(単位:百万円)

売上高
985億66百万円
前年同期比 **5.4%増**

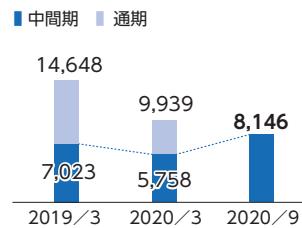


EBITDA
140億78百万円
前年同期比 **25.2%増**

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費



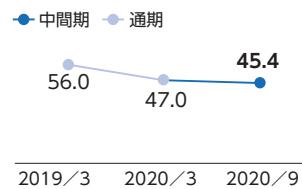
営業利益
81億46百万円
前年同期比 **41.5%増**



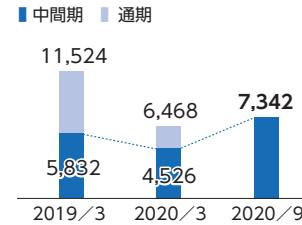
自己資本比率

(単位: %)

自己資本比率
45.4%



経常利益
73億42百万円
前年同期比 **62.2%増**



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益/損失
51億2百万円
前年同期比 **100.5%増**

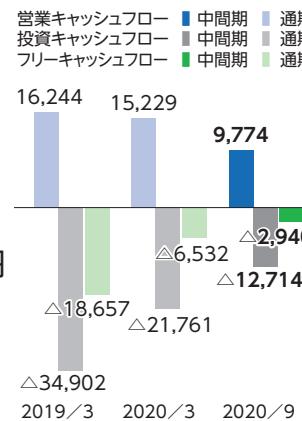


キャッシュフロー

(単位:百万円)

営業キャッシュフロー
97億74百万円

フリーキャッシュフロー
△29億40百万円

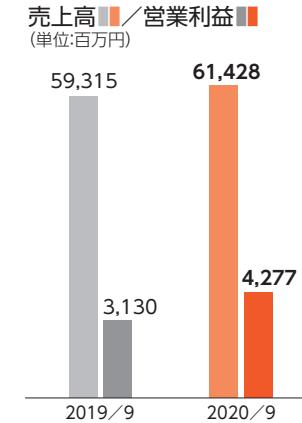


受託臨床検査事業



患者の受診抑制の影響により検査受託数が減少した一方、新型コロナウイルス感染症のPCR検査や空港検疫所における包括的検査サポートの提供を開始したこと等により増収となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により増益となりました。



滅菌関連事業



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う検診実施延期による減収影響があったものの、前年第3四半期に開始した大口顧客への医材預託品販売の寄与等により増収となりました。

利益面では、医材預託品販売による利益貢献は限定的であったものの、主に労務費が低減したこと等により、増益となりました。



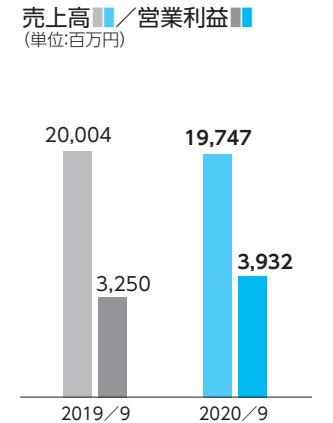
今年度より受託臨床検査事業のSPSサービス事業*を滅菌関連事業へ承継したことに伴い、両事業の過去実績はそれぞれ遡及した組替後実績値を掲載。
※SPS(サニタリー・パッケージ・システム)サービス: 白衣等ユニフォームのリース、メンテナンス、利用者個人別の管理を医療機関に提供するサービス

臨床検査薬事業



新型コロナウイルスに係る迅速抗原検査キットおよび高感度抗原検査試薬の販売が売上に寄与した一方、感染拡大に伴い世界的な検査需要の減少が継続したことにより減収となりました。

利益面では、機台設置先行費用が縮小したことに加え、収益性の高い製品の売上比率が高まったことから増益となりました。



新規育成事業
およびその他



在宅・福祉用具事業の伸長に加え、食品・環境・化粧品検査事業において株式会社日本食品エコロジ研究所が前年第4四半期より連結計上開始となったこと等により、増収となりました。

利益面では、先行費用が継続したこと等により営業損失は375百万円となりました。



新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への対応

H.U.グループの強みを活かして、いち早く対応

H.U.グループは、新型コロナウイルス感染症の流行に
対して、検査会社としていち早く対応に取り組んでまいり
ました。

今年2月には民間検査センターとしては初めてPCR検査
の受託を開始しました。また、我々の強みである感染症
分野における抗原・抗体技術を活かした、国内初となる
迅速抗原検査キットおよび世界初となる高感度抗原検査
試薬を発売しました。

今般、こうしたスピーディーな対応を実現できた背景に
は、前中期計画にて進めてきたグループ一体化の取り組
みが大きく奏功したと考えています。検査会社としての強
い使命感をもった従業員が事業間の垣根を越えて取り組
んだことにより、独自の技術やノウハウを迅速に開発や体
制整備に結びつけることができました。

これからもグループ一丸となり社会課題の解決に向け
て、様々な製品・サービスを提供し続けてまいります。



受託臨床検査事業

医療機関に
検査受託サービスを提供




Research & Development

グループR&Dの統括、
基礎研究




臨床検査薬事業

検査で使用する
機器・試薬の製造販売



検査受託 (PCR検査)



株式会社エスアールエル
臨床開発課 課長 | 森 正敏

PCR検査の早期受託について

国内での感染拡大が懸念され始めた頃より、新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 遺伝子検査の早期実施が求められておりました。WHO等の公的機関の情報を頼りにH.U.グループ一丸となってPCR検査体制を構築し、受託を開始することができました。今後は新型コロナウイルス感染症拡大防止に貢献するとともに、生活を豊かにする検査・仕組みづくりができればと思います。

製品開発 (エスプライン、ルミパルス)



富士レビオ株式会社
取締役 | 青柳 克己

IVD製品の早期上市について

当社がこれまで蓄積してきたツールや技術を用いて1月中旬より開発に着手し、関係機関等のご指導・ご協力と当社グループ内の見事な連携により、5月に国内初の迅速抗原検査キット「エスプライン® SARS-CoV-2」、さらには6月には世界初となる高感度抗原検査試薬「ルミパルス® SARS-CoV-2 Ag」の開発に成功しました。

その後もインフルエンザ試薬との検体共有化、鼻腔拭い液への適応など開発の手を緩めることなく、利便性向上に取り組んでいます。

空港検疫所



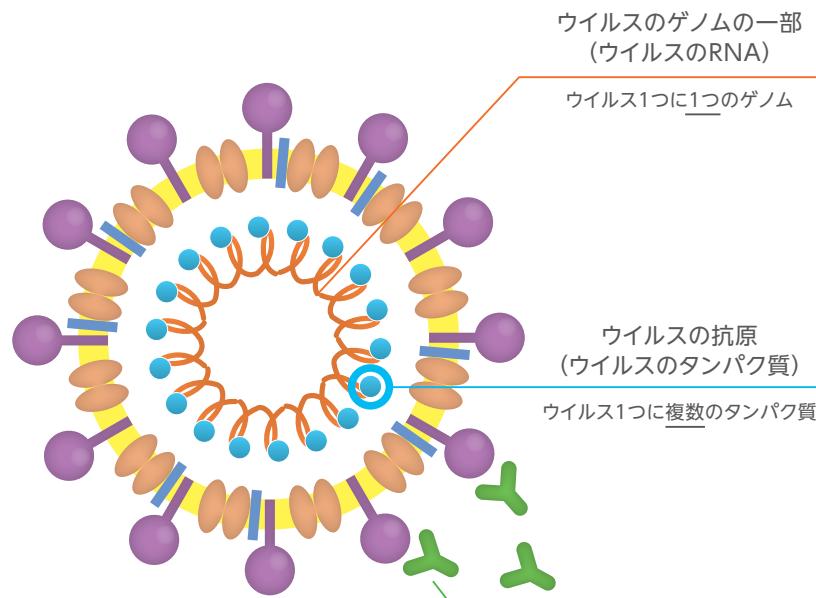
H.U.フロンティア株式会社
第一営業本部 本部長 | 砂金 悟

空港検疫所へのH.U.グループの貢献について

「日本の玄関を共に守りましょう」今年の7月、厚生労働省と空港検疫所における新型コロナウイルスの検査機器・試薬等の提供について同意しました。富士レビオの技術から生まれたルミパルスシリーズと高感度抗原検査試薬、H.U.グループ中央研究所の迅速な検証、エスアールエルの院内事業ノウハウや検査員の派遣協力、そして何よりも関係者全員の前向きさ…本当に多くの実績と奇跡が重なり実現しました。

H.U.グループが提供する新型コロナウイルス検査

新型コロナウイルスの検査には、現在感染しているかを調べる「PCR検査」や「抗原検査」、過去に感染したかを調べる「抗体検査」がありますが、H.U.グループではこれら全ての検査に対応しています。



[ウイルスのイメージ図]

検査種別	用途	特徴	H.U.グループの貢献
PCR検査	有症患者の確定診断	<ul style="list-style-type: none"> ● ウイルスRNAを増幅するため高感度 ● コンタミネーションリスクが高く精度管理が難しい ● 性能の異なる技術・製品が混在 (承認・未承認製品：25製品以上) <p>検査時間 35分~120分 鼻咽頭、鼻腔、唾液</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間検査センターとして、日本で最初にPCR検査を受託
	無症状者に対する陰性確認	<p>高感度抗原検査 (ルミパルス® SARS-CoV-2 Ag)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ウイルス抗原を独自技術により高感度検出 ● PCRに準ずる精度 ● 全自動・ハイスループット・高感度 <p>検査時間 大型機：25分以内(240テスト/時間) 鼻咽頭、鼻腔、唾液 中小型機：30分以内(120テスト・60テスト/時間)</p>	
抗原検査	有症患者の診断	<p>迅速抗原検査 (エスプライン® SARS-CoV-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 検査機器を必要としない ● 患者の傍らで検査 (POCT) <p>検査時間 10分~30分以内 鼻咽頭、鼻腔、(唾液は開発中)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界初となる高感度抗原検査の上市 ● 主要空港検疫所にて採用 (成田・羽田・関西・新千歳・中部・福岡・那覇)
	感染履歴の有無	<ul style="list-style-type: none"> ● 臨床的意義が確立していない(研究・疫学調査) ● 性能の異なる技術・製品が混在 (未承認製品：30製品以上) <p>検査時間 30分以内</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本初となる迅速抗原検査の上市 ● インフルエンザとの同一検体を用いた検査が可能
抗体検査	感染履歴の有無	<ul style="list-style-type: none"> ● 臨床的意義が確立していない(研究・疫学調査) ● 性能の異なる技術・製品が混在 (未承認製品：30製品以上) <p>検査時間 30分以内</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 検査機器による大量の受託能力

会社概要 (2020年9月30日現在)

社名 H.U.グループホールディングス株式会社
 本社所在地 〒163-0408
 東京都新宿区西新宿2-1-1
 新宿三井ビルディング
 TEL: 03-5909-3335 (代表)

資本金 9,184百万円
 経営体制 指名委員会等設置会社
 従業員数 5,976名 (連結)

役員一覧 (2020年9月30日現在)

取締役



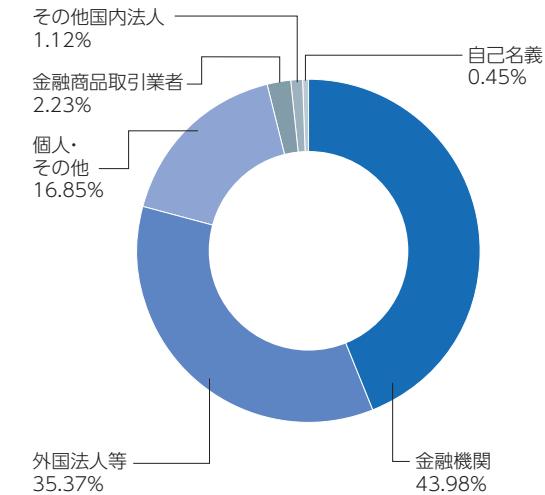
執行役



株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 200,000,000株
 発行済株式の総数 57,416,407株
 1単元の株式数 100株
 株主数 18,915名

所有者別株式分布



大株主の状況

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,651.1	9.89
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,812.9	8.42
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	3,955.4	6.92
株式会社みずほ銀行	2,132.1	3.73
第一生命保険株式会社	2,000.7	3.50
日本生命保険相互会社	1,538.6	2.69
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	1,414.0	2.47
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44	1,368.6	2.39
明治安田生命保険相互会社	1,272.2	2.23
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 1300000	1,182.2	2.07

(注) 1. 持株比率は、自己株式259,284株を除いて計算しております。なお、自己株式には業績連動型株式報酬制度 (役員報酬BIP信託) により当該信託が保有する株式129,572株は含まれておりません。
 2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社および株式会社日本カストディ銀行の所有株式は、全て信託業務に係るものであります。
 3. 株式会社みずほ銀行の株式数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式2,131.5千株 (持株比率3.73%) を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行」であります。)

配当金について

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要施策の一つとして位置づけております。配当については、連結配当性向の基準を特別損益等特殊要因を除いた純利益の50%以上としております。当期の中間配当金は1株あたり50円とし、年間配当金の予想については未定とさせていただきます。